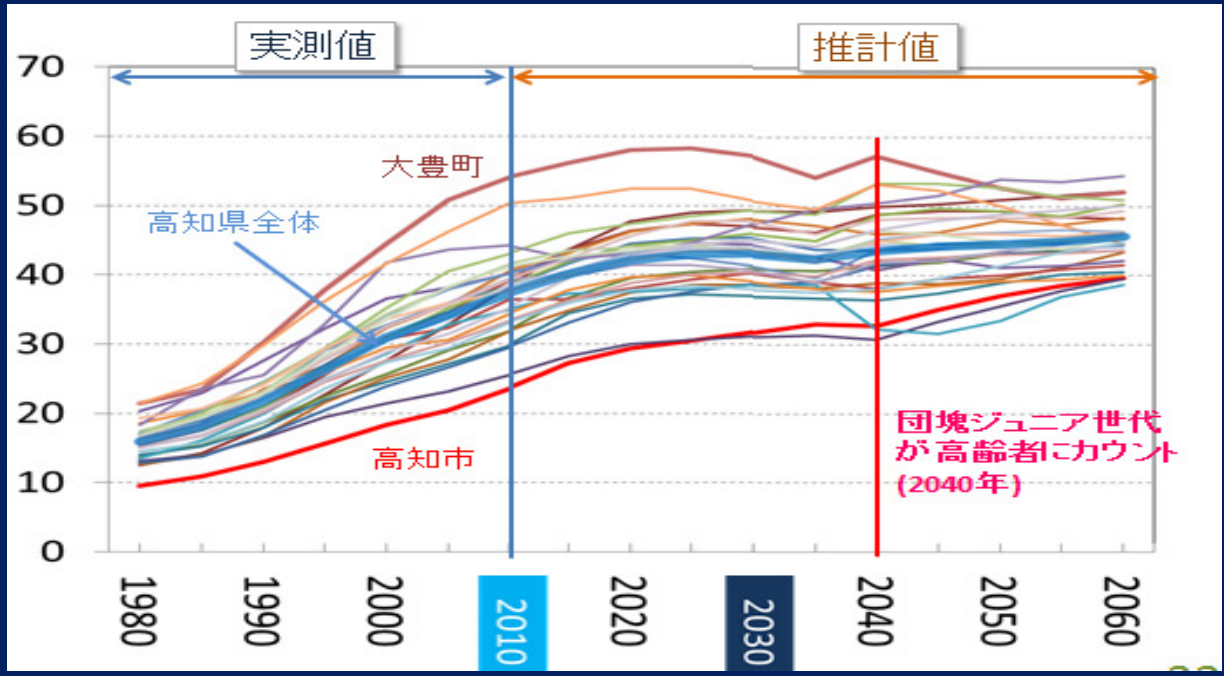


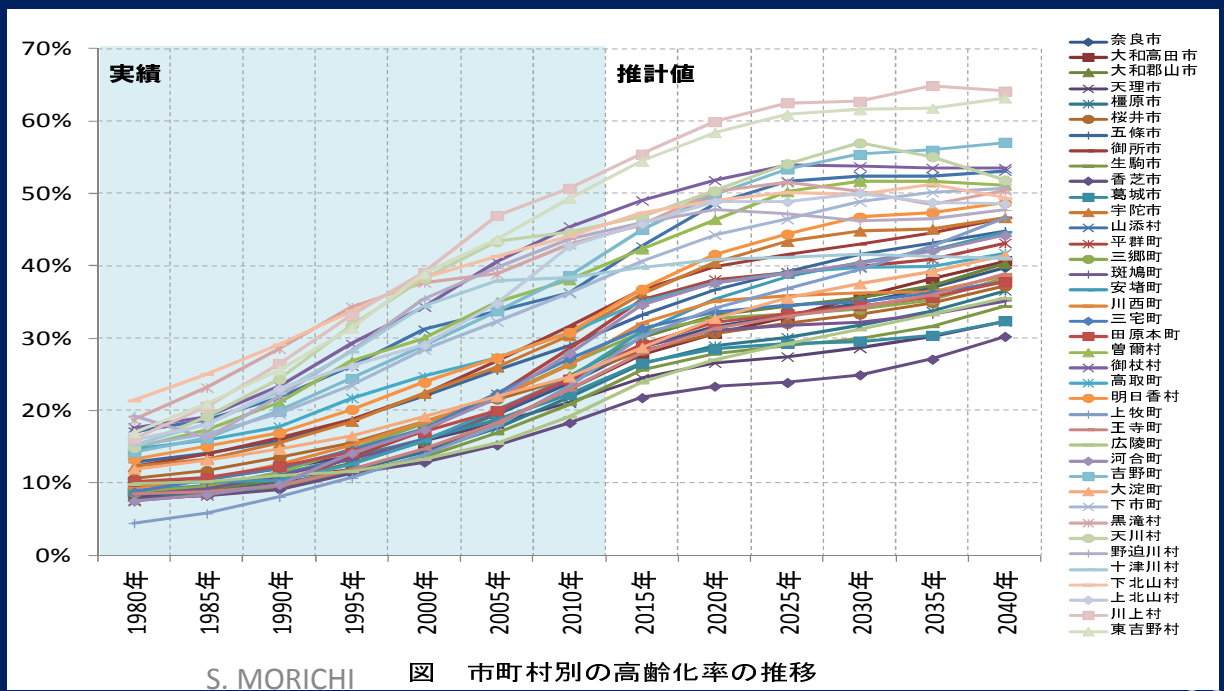
# 市町村別高齢化率

## 高知県

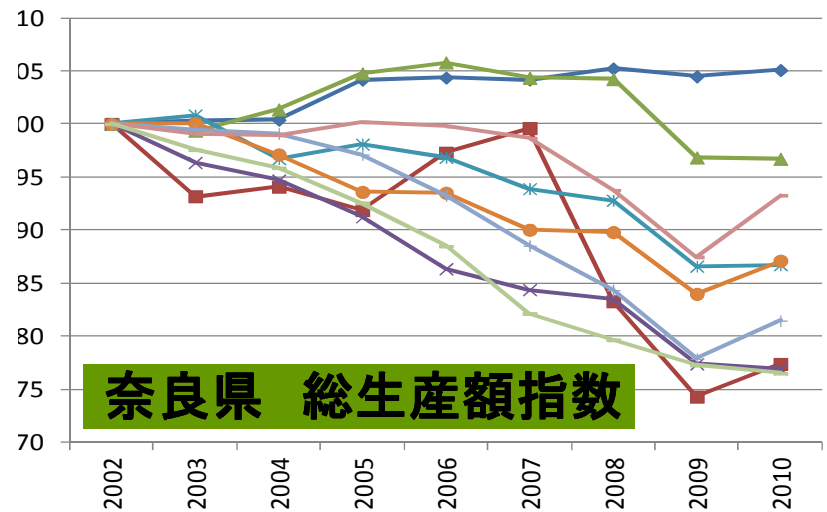
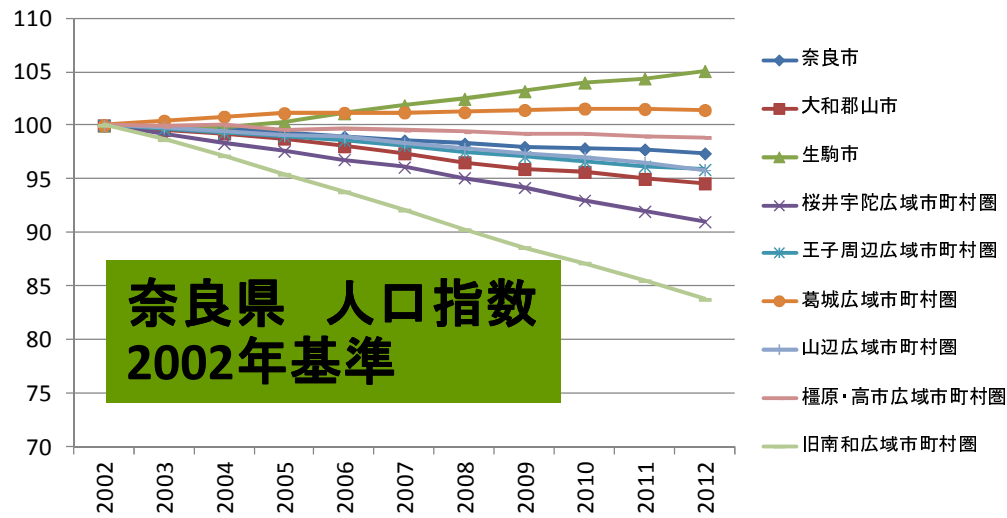
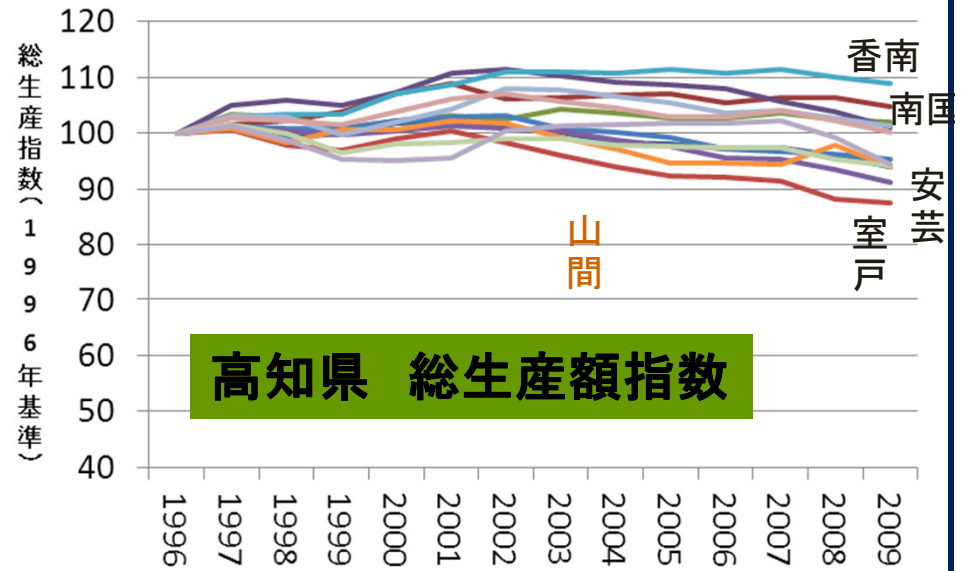
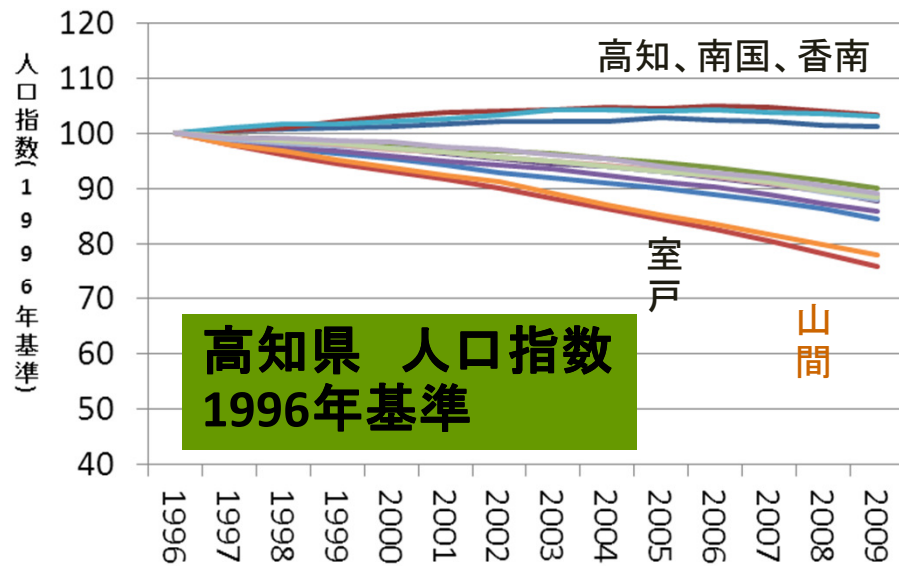


## 奈良県

高知県: 60%越えなし  
 奈良県: 50%以上多数  
 何故?  
 対応は?



# 生活圈別人口減少と総生産額

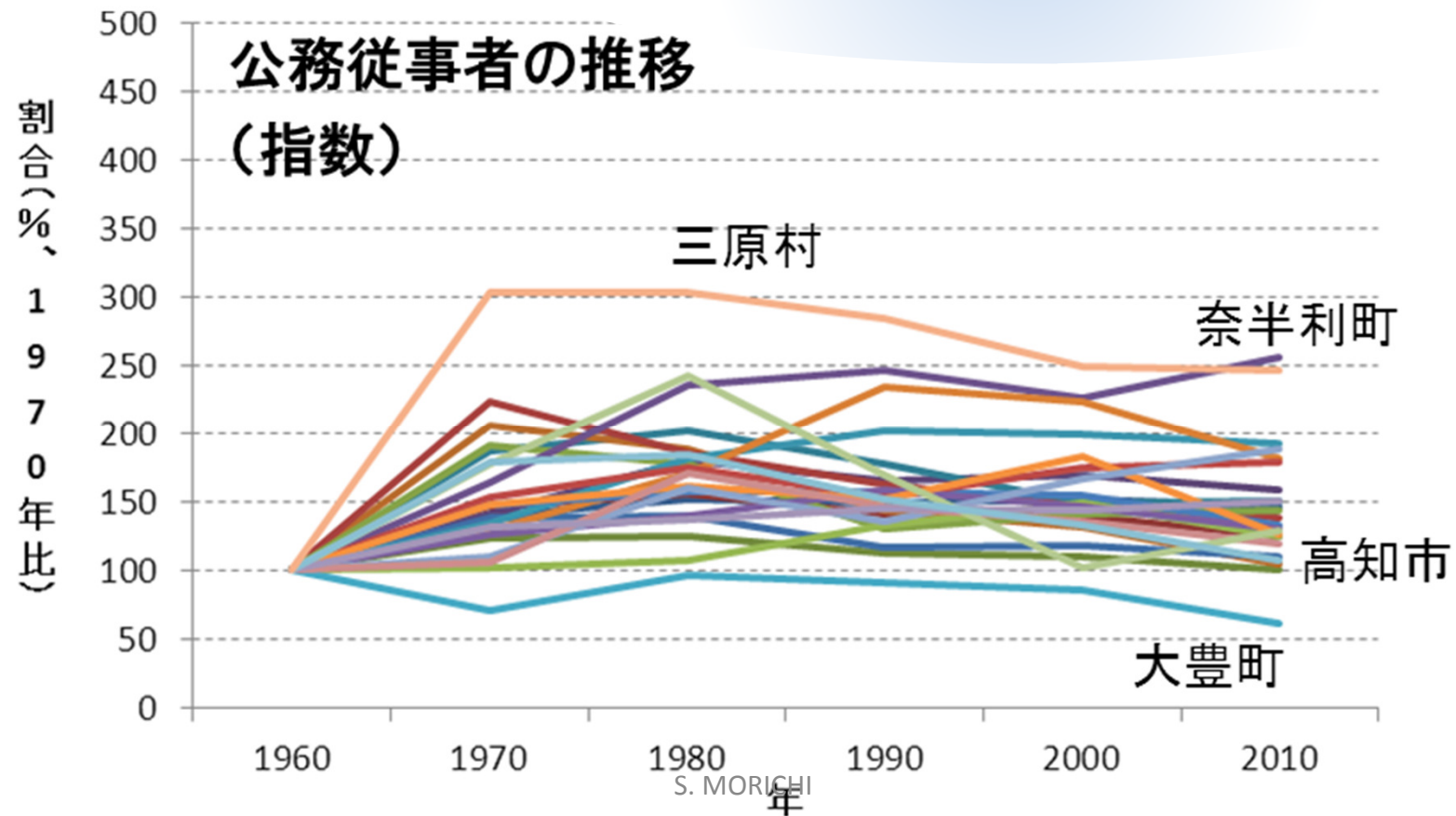


高知県は人口減より小さい経済縮小、奈良県は逆。何故？

# 高知県の場合

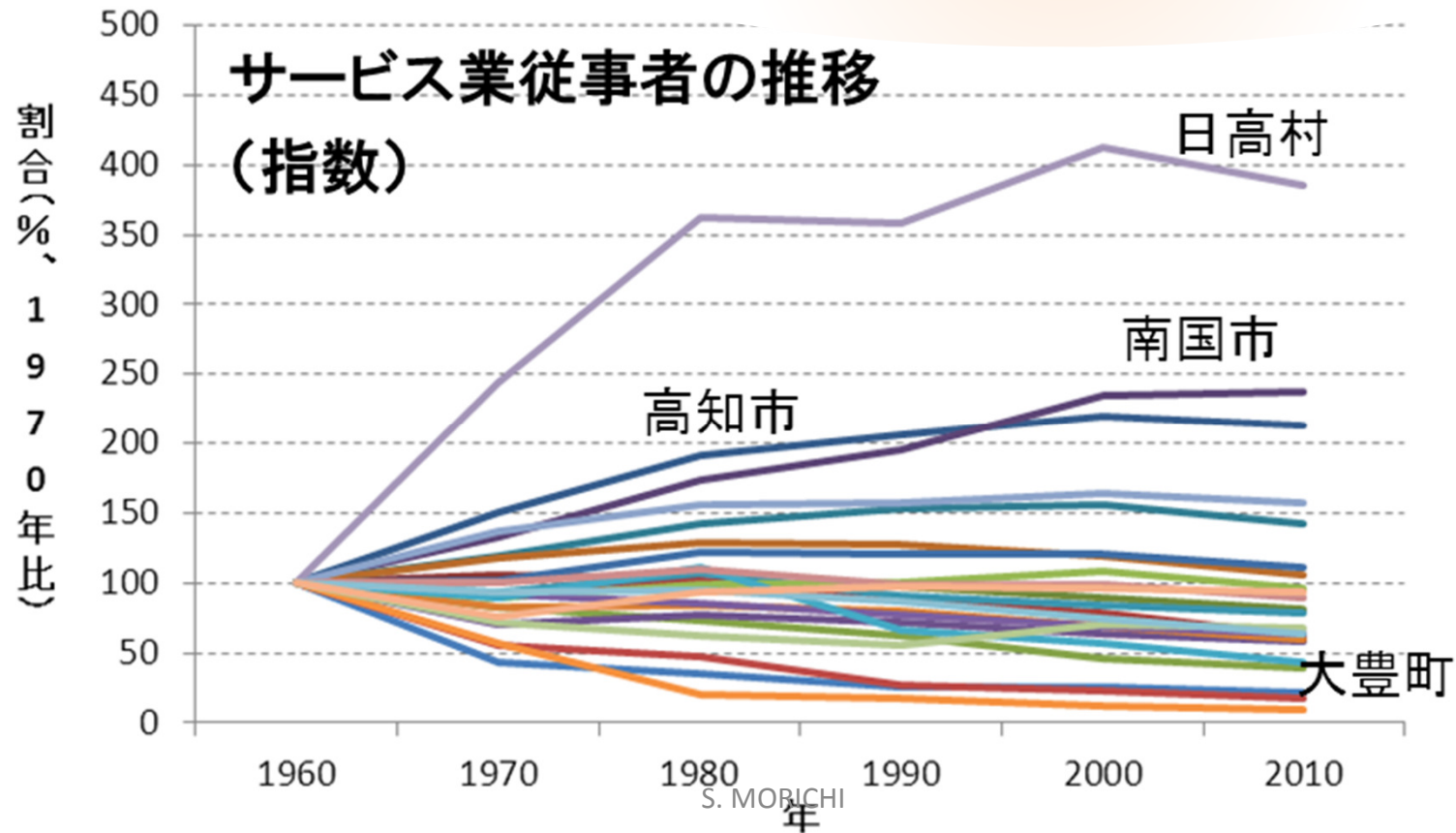
1960年から2010年まで**公務従事者**は**ほぼ横ばい**で推移。

世代毎に就業人口規模が異なるが  
景気に左右されず人員を補充



# 高知県の場合

サービス業従事者の推移と生活圏の拡大  
1980年に変動が大きいが、以降の減少は安定化。



## まとめ

### 高知県の場合・・・奈良県にとっての参考とすべき現象は？

- 近年、**人口移動**は、県、市町村単位でも**縮小基調**にあること。
- 地方市町村には、高度成長時に大規模な人口減少が生じるものの、近年では、**生産年齢人口が一定数存在**すること。
- 過疎町村の人口減少は事実だが、地域全体で一様に減少してはならず、**限界集落のように消滅することは考えにくい**こと。
- 高齢化率が将来にわたって**上昇し続けることは考えにくい**こと。
- 従来の市町村単位を拡張した**生活圏単位**で社会経済指標を見ると、過疎地でも**人口減少**ほどは**経済生産**が**落ち込まない**こと。

### 奈良県の場合・・・高知県との差異

大都市圏にあることの影響

人口と産業集積のギャップ

高齢化の進む市町村の生活サービス：医療・福祉のまちづくり

### 3. インフラの高齢化と市町村の技術者不足

- 1980年代 “America in Ruins” 崩壊するアメリカ
  - ・ インフラの老朽化：事故、自治体破綻、生活環境
  - ・ アセットマネジメントが最重要研究テーマに
- 我が国でも老朽化対策先進的取組から普及段階へ
  - ・ インフラの老朽化と災害の関係も深刻

#### インフラの老朽化対策の課題

累積させると回復に長期間：米国の教訓

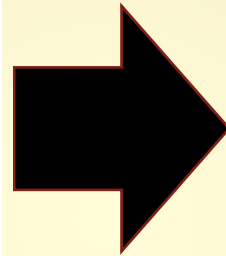
細部の部材の欠陥の検知：技術開発

専門家不足の自治体：広域行政とPFI



# 塩害により崩落に至った沖縄県内の橋梁

2010年4月



**塩害で主鉄筋の破断！落橋！**  
⇒塩害劣化の原因は？材料？環境？  
⇒この失敗事例から何を学ぶか？



# 塩害により崩落に至った沖縄県内の橋梁

2009年7月

## ◆1981年建設◆橋長35mの橋梁



橋梁内部の激しい塩害劣化

下里哲弘、沖縄県内の土木構造物の現状、  
2011.11.18.土木の日シンポジウム 講演資料

沖縄タイムス 2009年(平成21年)7月

【国頭】国頭村辺野喜の村道辺野喜橋が15日午後5時37分、老朽化のため辺土名側で折れ曲がり辺野喜川に一部崩落した。橋は2004年から安全性確保のため全面通行止めとなっており、けが人などの被害はない。同橋は全長35m、全幅6.5m、1981年に供用開始。村は2004年11月、塩害や老朽化による崩落の可能性があると、通行止めにしてきた。今月取り壊しを予定していた。

同村によると、村内には辺野喜橋と同じころ建設された橋が38カ所あり、今後は国の補助事業を活用して改修していく方針。

が発生したと報告した。県は児童・生徒の感染が確認された公立学校や保育所など計7カ所に休業を要請した。学生の感染が分かった。臨時休校を決めた。新型インフルによる県内大学の休業は初めて。累計患者数は米軍基地内で発生した4人を除き、51人となった。県が休業を要請したのは立南原、読谷村立渡慶次の2小学校、うるま市のきむたか保育所、中部地域の無

生徒が夏休みに入るまで休校による感染拡大防止を図り、新学期から季節性に準じた対応に変更する方針を確認した。

県福祉保健部は現在の課題として①病原性に応じた対策本部の設置要項、行動計画の見直し②業務継続計画を検証し、実効性を高める③インフル薬の配備などにかかる費用の確保などを挙げた。

企画部は、6月末までに県内の全市町村が対策本部を設置し、緊急時の連絡態勢を整ったと報告した。

老朽橋、力尽き崩落  
国頭村辺野喜

塩害や老朽化により撤去工事を前に崩落した国頭村道辺野喜橋。16日午前9時50分ごろ(前森梓撮影)

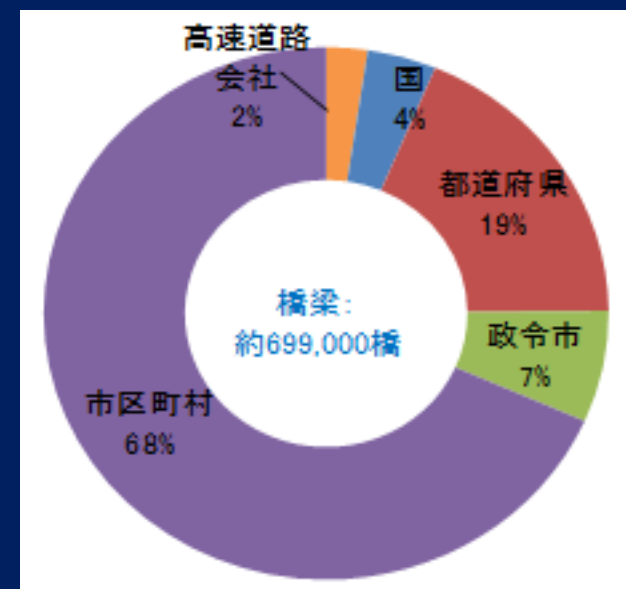
1人、10代男性6人、同女性1人、20代男性2人、40代女性1人、防に努めるよう呼び掛け



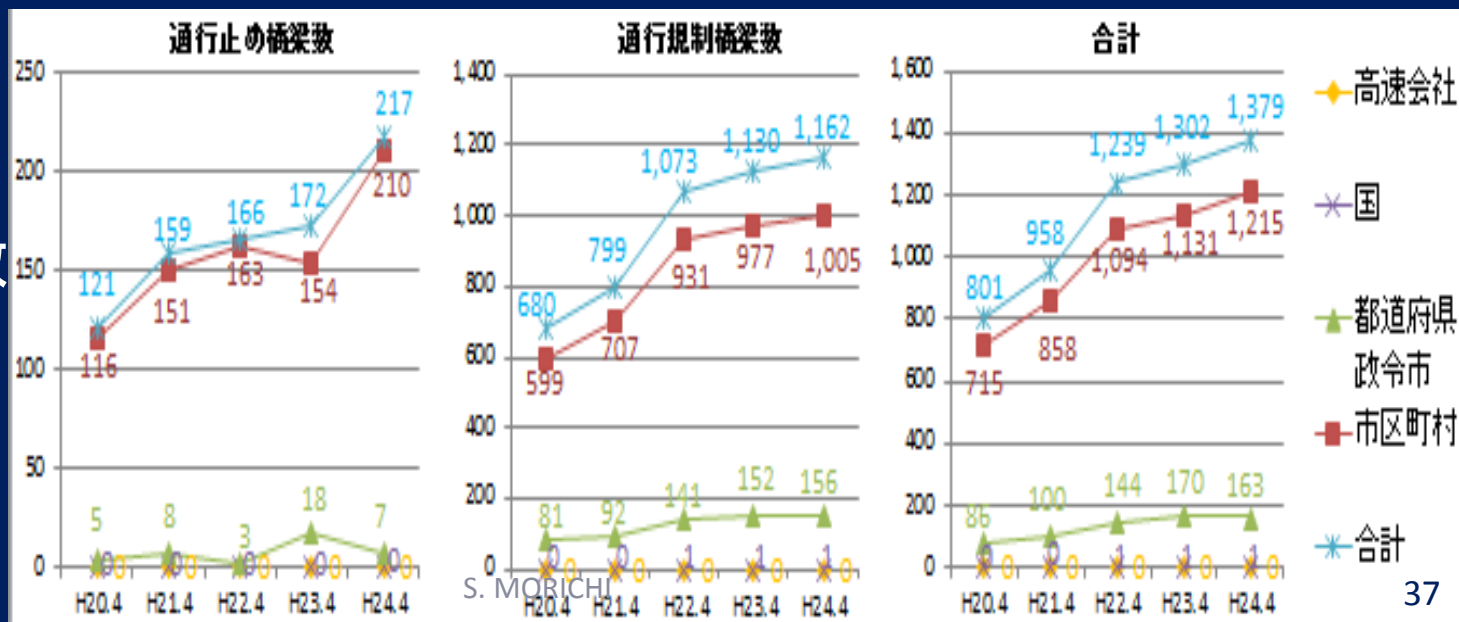
# 建設後50年以上のインフラの割合(全国) 道路管理者別橋梁数(全国)

	平成22年度	平成32年度	平成42年度
道路橋 ※約15万5千橋 (橋長15m以上)	約8%	約26%	約53%
排水機場、水門等 ※約1万施設	約23%	約37%	約60%
下水道管きよ ※総延長：約43万km(連)	約2%	約7%	約19%
港湾岸壁 ※約5千施設	約5%	約25%	約53%

(注) 岩手県、宮城県、福島県は調査対象外  
資料) 国土交通省



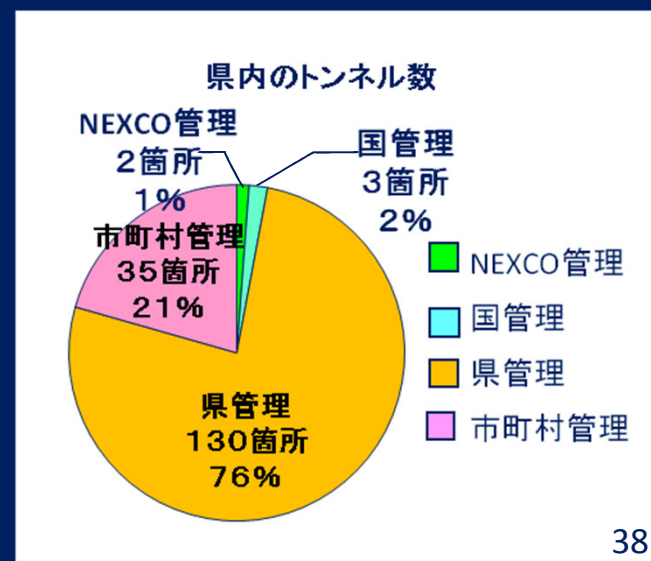
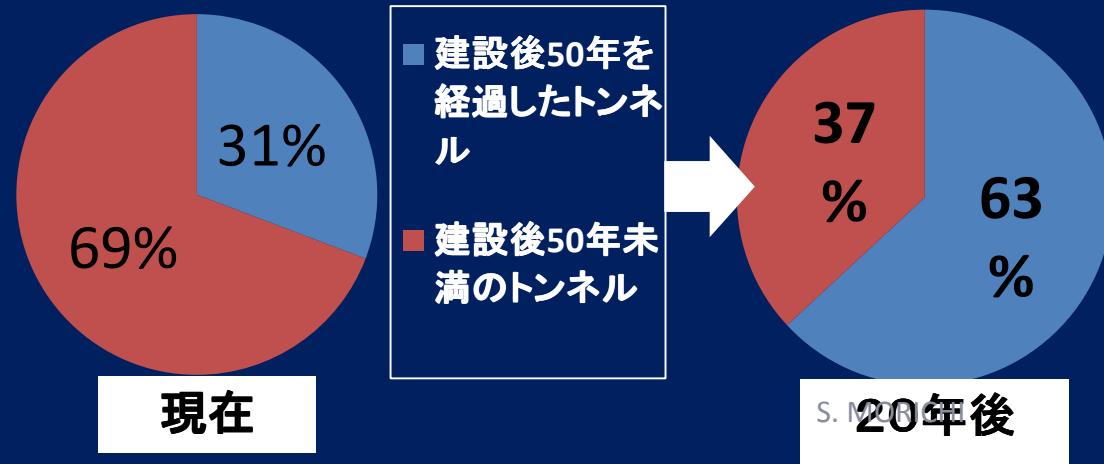
## 道路管理者別 不良橋梁数 (全国)



# 奈良県内の橋梁長寿命化に関する取組状況

	管理橋梁数 (15m以上)	点検実施 橋梁数	点検 実施率	計画策定 橋梁数	計画 策定率	今後10年間の 要修繕梁数	修繕実施 済み橋梁数	修繕 実施率
奈良県	775	775	100.0%	775	100.0%	225	41	18.2%
県内市町村	1,315	1,223	93.0%	922	70.1%	522	12	2.3%
奈良県合計	2,090	1,998	95.6%	1,697	81.2%	747	53	7.1%
全国平均	143,763	138,988	96.7%	124,848	86.8%	68,800	10,042	14.6%

## 奈良県のトンネル



## 市町村トンネル補修の支援：奈良県の取り組み

道路ストック総点検によるトンネル点検の垂直補完を実施

H25. 2. 25. 全市町村に『道路ストック総点検』の  
説明会を実施、希望のある市町村を確認。

H24年度補正予算 トンネルの点検（13市町村で実施）  
（そのうち、9市町村が垂直補完により実施）

- トンネル点検には、市町村道の通行規制等の地元調整が必要
- 市町村職員も積極的に参加してもらうことが必要



今後、橋梁と同様に補修工事についても垂直補完を検討  
市町村トンネル点検の結果により、補修工事を検討



技術者不足対策として、

長野県：昭和初期に複数市町村の土木事務処理機関として、  
各地域の県建設事務所に「土木振興会」を設置  
現在、広域連合の一部に

奈良県：県の土木事務所への市町村の業務と職員の受け入れ  
共同事業と人事育成の工夫・・・画期的な政策

国土交通省：技術的、経済的自治体支援

効率化対策として、

国土交通省：大宮国道事務所・・・包括契約

新施設設に関し、建設企業に数年間の性能保証義務  
発注制度、PFI、規制改革に関する模索

# おわりに

- 人口減少下でも経済成長は可能
  - 地方部の市町村の持続可能性には広域連携が必要
  - 広域生活圏の高齢化率は上がり続けるわけではない
  - 高齢化社会に対応するまちづくりが必要
  - 地域を支えるインフラの老朽化は深刻化
  - その維持補修のためには新たな仕組みが必要
- 国・県・市町村の役割の再構築・・・奈良県の取り組み  
官民協力制度の再構築

ご清聴ありがとうございました